

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡山平田校			
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日		～	令和7年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47家庭	(回答者数)	35家庭
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日		～	令和7年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者満足度が高い	支援内容を丁寧にフィードバックすることで、支援の意図や家庭で行ってほしいことを伝えるように心がけている。	事業所内相談や連携などをより増やしていき、さらに保護者満足度が高くなるようにしていく。
2	色々な年齢層の職員がいる	5年以上保育士や5年以上指導員など経験豊富な職員が多い。 また子育て経験がある職員も多い。	職員の子育て経験なども活かしながら、子育ての悩みを相談できる場所となっていけるようにしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の質のばらつきがある。	各指導員の支援の意図の説明ができているかできていないかの差	個別支援計画に基づいて支援を行っていることを再度周知して、支援の質のばらつきと感じられている要因を減らしていく。
2	活動のスペースが狭い	物理的なスペースの狭さ	教材の片づけをするなどをして、お子さんが使うスペースはなるべく広く取れるようにしていく。
3			

公表日

2026年2月14日

事業所名 ことほサポート教室「きらり」岡山平田校

利用児童数 53人（47家庭）

回収数： 35

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	11	2	0	もう少し広いといいなと思うボール遊びをするには少し狭い気がするが、気をつけてすれば問題ないと思う。運動をするスペースが狭い建物内が狭いもう少し広くてもいいかなと思います。先生たちの休憩スペースも狭くてかわいそうに思います	ご意見ありがとうございます。なるべくお子様が活動するスペースには物は置かないようにするなどをして狭い空間の中なるべく活動できるように工夫させていただいております。職員の休憩スペースは確かに狭く感じますが外出するなどしてリフレッシュさせていただいております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	30	2	0	3	名札に書いている資格の有無が見えない。初めて担当でお会いする方は挨拶してこないからさらに分からない。	ご意見ありがとうございます。挨拶がなく申し訳ございません。職員の資格に関しては、5年以上の保育士が3名、5年以上の児童指導員が1名、5年未満の児童指導員が1名、管理者兼児童発達支援管理責任者が1名です。児童指導員は教員免許や児童指導員任用資格などを持っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	6	0	2	他事業所では、出入り口は常に施錠されていたきちんとした仕切られた空間ではないから、情報伝達等の配慮はなされてないと思う	ご意見ありがとうございます。出入り口の施錠は虐待防止の観点からなるべく行わないようにしております。事業所の目の前が道路ということもあるので必要があれば施錠を行わせていただくことも検討いたします。情報伝達に関しては、フィードバックを電話で行うことも可能です。気になる場合には、職員までご一報いただけましたら幸いです。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	5	0	1	狭い空間なので、もっと広げればいいと思う	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	2	1	0	先生の質にバラツキはありますが、良い支援が受けれていると思っています	ご意見ありがとうございます。アプローチの違いはあると思いますが、どの指導員も個別支援計画に沿って支援をさせていただいております。個別支援計画をより丁寧に説明できるように改善してまいります。また、支援後のフィードバックの際に支援の意図で不明な点があればご質問くださいませ
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	1	0	2		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	35	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	2	0	3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	3	0	0		
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	3	0	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	18	7		

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	4	10	8		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	32	2	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	4	1	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	5	0	1	職員による	どの職員もお子様のことが大好きな職員ばかりだと思っております。どの職員も共感的に支援できていると感じていただけるように行ってまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	8	13	8		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	2	0	4		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	3	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	3	4	13		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	1	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	5	1	10		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	2	1	13		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	3	0	7		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	2	1	15		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	34	1	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	8	1	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	4	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。				スペースが狭いため、活動が制限されることがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。			職員間で協力ができている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。				トイレに段差があるので小さなお子様は使いにくい部分がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。			毎日始業時に清掃を行っている。また定期的 に大掃除を行い、環境美化に努めている	事業所の床が傾いている。こちらは建物の取り壊しを行わないといけず対応できていません。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。			クールダウンスペースあり。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。			朝礼などで支援を振り返る機会や検討する機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			保護者向け評価表の回答を事業所内で検討して改善策を考えている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			朝礼などで支援を振り返る機会や検討する機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				第三者評価は実施していない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			研修は多くあり、法人内で実施できている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。			ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。			アセスメントを行い、個別支援計画の作成に取り組んでいる。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			児童発達支援管理責任者を中心にアセスメントを行い、個別支援計画の作成に取り組んでいる。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			NCプログラムなどを使用している。また会社内でアセスメントシートがあり、アセスメントシートを活用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			活動内容が固定化しないように、過去の支援記録などを参考しながら工夫をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。			月に1回程度小集団の活動を組み合わせて活動している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			朝礼などで支援を振り返る機会や検討する機会を設けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			当日中には行っていないが、朝礼などで支援を振り返る機会や検討する機会を設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			半年に1回は計画を更新して、実態に合った計画で支援を行うようにしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。				
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。				
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。			積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			朝礼にて共通認識を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。			契約時に丁寧な説明を行っており、教室掲示を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。			定期的に事業所内相談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。				
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			ホームページにてブログを公開している。そこで活動の様子やお知らせを載せている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。			鍵付きの書庫で管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			5校舎合同で大きなイベントを開催している。地域の方や近隣の大学などを巻き込んで行った。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			マニュアルは整備しており、玄関に掲示している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。			BCPを作成し、必要な訓練は実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。			アセスメントの際に確認をして、必要のあるお子様の把握はしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			アセスメントの際に確認をして、必要のあるお子様の把握はしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			ヒヤリハットは作成し、校舎内で回覧をしている、また西日本エリアで匿名の形にして事例を共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。			適切に研修が計画されており実施されている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。			適切に研修が計画されており実施されている。個別支援計画にも記載あり。	